



株式会社 ミマキエンジニアリング

個人投資家向け 会社説明会

2025年8月29日

常務取締役 CFO 清水 浩司

- ❖ 会社概要
- ❖ ニューストピック
- ❖ 3つの市場とシェア
- ❖ サステナビリティの取り組み
- ❖ まとめと市場の成長性
- ❖ 中長期成長戦略 MI30
- ❖ 株主還元

“水と空気”以外に印刷する 世界的な産業用プリンタメーカー

数字で見るミマキ

※2025年3月末現在

売上高



839億円

営業利益率



10.9%

海外売上高比率



72.7%

従業員数(連結)



2,114名

開発投資比率



6.8%

グループ会社数



29社



設立	1975年8月	資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代表者	代表取締役社長 CEO 池田 和明		
株主数	5,403名 ※2025年3月末現在		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株=100株) ※2025年3月末現在		



株式会社ミマキエンジニアリングが 「JPX日経中小型株指数」 構成銘柄に新規選定されました

【ご参考】 JPX日経インデックス400及びJPX日経中小型株指数の構成銘柄の定期入替について
https://www.jpx.co.jp/news/6030/um3qrc000001ri27-att/data_j.pdf



JPX-NIKKEI Mid Small

JPX日経中小型株指数とは

「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする「JP日経インデックス400」導入時のコンセプトを中小型株に適用し、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行う企業を選定

2025年度 対象期間

2025年8月29日(本日) から 2026年8月28日

屋内外の看板や、グッズ・ノベルティ、衣料品など、

水と空気以外の様々な素材へ印刷する、

産業用大判インクジェットプリンタを、

長野県から全世界150カ国以上に向け

提供しています



本体・インク・ソフトウェア・保守サービスまで一貫して提供

……だけど、プリンタって聞くとなんとなく



「デジタルコンテンツの増加で紙への印刷は減少？」

「紙の使用は環境負荷も高いしマイナスイメージ…」

「インクで儲けるビジネスモデルでしょ！？」

当社はちょっと違います

SG

サイン
グラフィックス

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

Sign Graphics

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど



3つの市場とシェア > SG市場向け (Sign Graphics/広告・看板)



3つの市場とシェア > SG市場向けの当社シェア

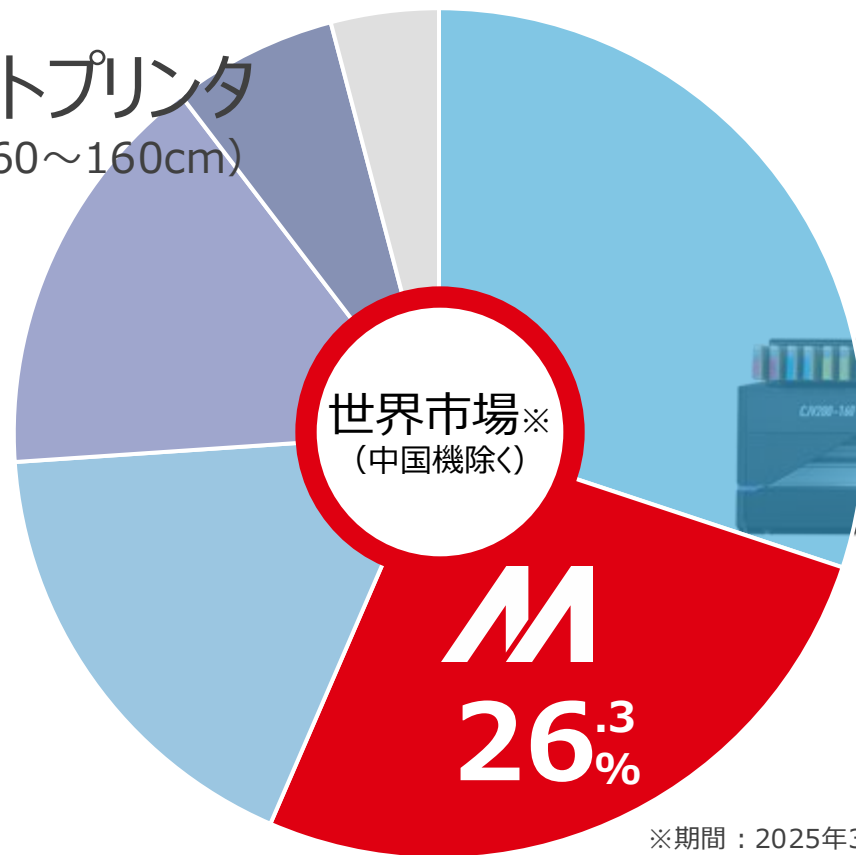


INN
VATION 30

サイングラフィックス市場向け

大判インクジェットプリンタ

24～64インチ（60～160cm）



※期間：2025年3月期 / 調査会社データに基づく当社推定

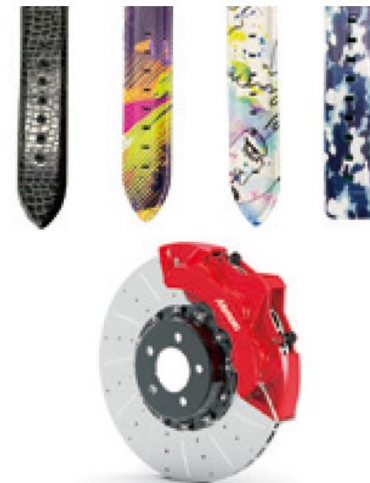
IP

インダストリアル プロダクツ

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

Industrial Products

活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

3つの市場とシェア > IP市場向け (Industrial Products/工業製品・小物類)



INNOVATION 30



グッズ・ノベルティ制作のIP市場

- ◆ 様々なメーカーを支える印刷技術 = UVプリント
- ◆ ノベルティやキャラクターグッズ制作で顧客/用途拡大
- ◆ オリジナルグッズやパーソナライズも需要が広がる



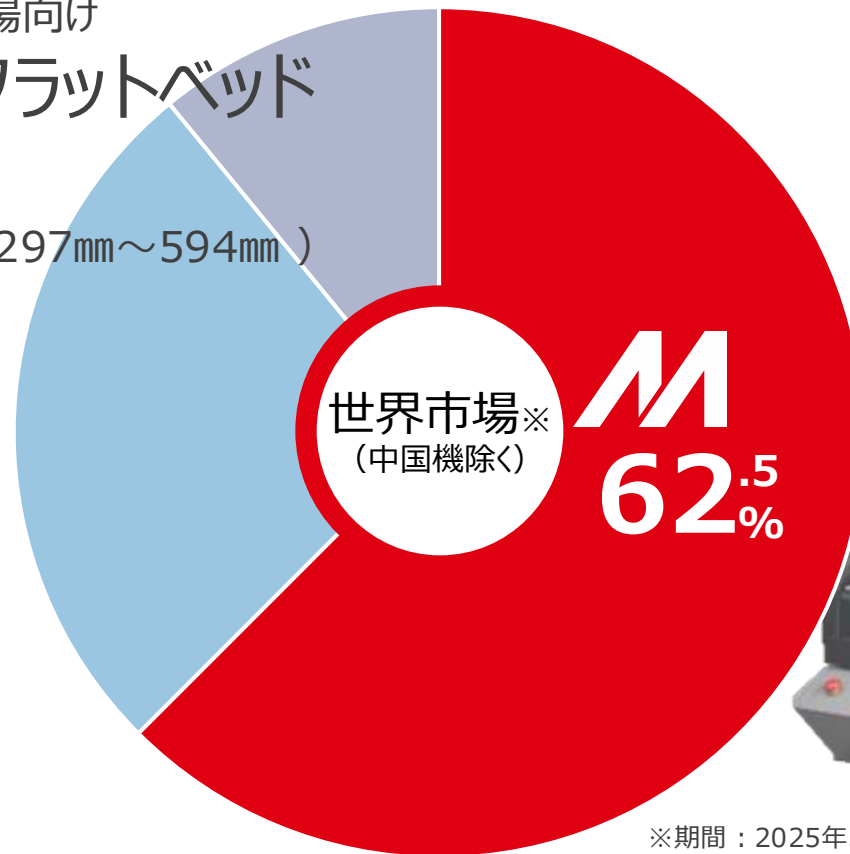
3つの市場とシェア > IP市場向けの当社シェア



INN
VATION 30

インダストリアルプロダクツ市場向け
デスクトップUVフラットベッド
プリンタ

A3～A2 (420mm x 297mm～594mm)



※期間：2025年3月期 / 調査会社データに基づく当社推定

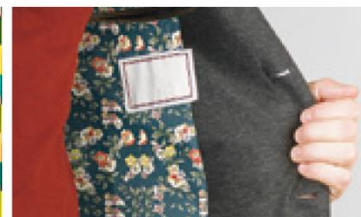
TA

テキスタイル・
アパレル

裁断・縫製加工前の生地
や既製服などファスト
ファッション・スポーツ
ウェア業界のほか、ファ
ニチャー業界で拡大して
いる製品群。

Textile & Apparel

活用事例



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など



3つの市場とシェア > TA市場向け (Textile & Apparel/布地・衣料品)

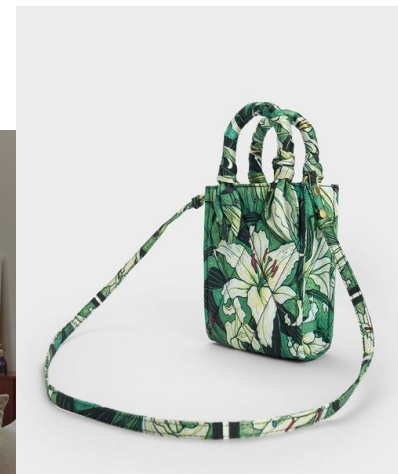


INN
VATION 30



本日配布のサンプル(ポーチ)も当社プリンタで印刷されています

- ◆ 有名ブランドのスカーフやオリジナルシューズなどの事例
- ◆ 有名ファストファッションのビジネスを支える
- ◆ ファッション業界の廃棄規制(EU) → 当社技術で解決



3つの市場とシェア > TA市場向けでの当社シェア

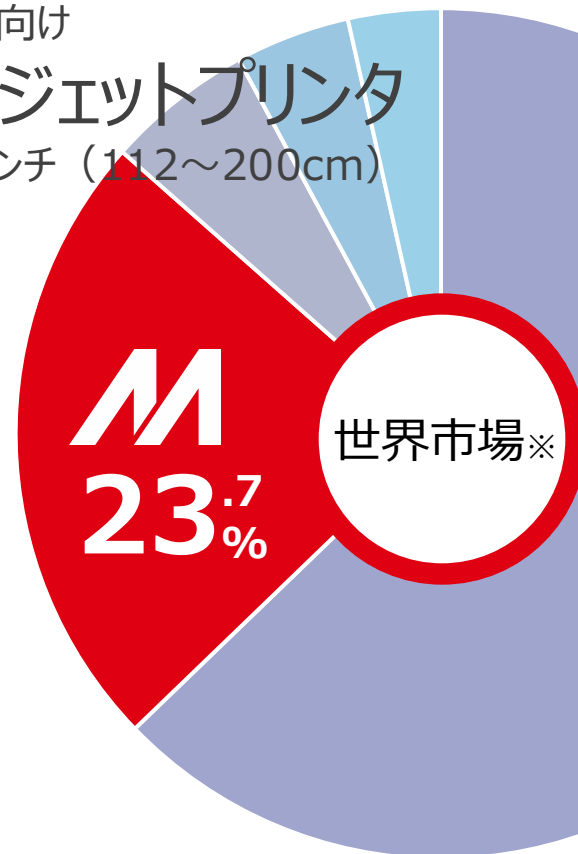


INN
VATION 30

テキスタイル&アパレル市場向け

昇華転写インクジェットプリンタ

44～78インチ（112～200cm）



※期間：2025年3月期 / 調査会社データに基づく当社推定

テキスタイル生産は 環境負荷が大きい産業構造

- アナログによる生産が90%以上
- 全世界生産量の73%が廃棄・焼却※
- リサイクル率は12%※
- リユース率は3%以下※



従来の問題点を デジタル捺染で解決

- ✓ デジタル化は10%未満（＝成長性）
- ✓ 循環・再利用をデジタルで実現
- ✓ 大量生産から適量生産に



※ Source: Circular Fibers Initiative analysis / 消費者庁資料より

ネオクロマト・プロセス Neochromato Process



再印刷したタペストリー（池袋ロフト）

- 染色されたポリエステル生地**の完全脱色**
- 再生利用ではなく**アップサイクル**を実現
- **CO2排出量を95%削減**し工業排水も限りなくゼロに
⇒ サステナブルなテキスタイル産業を実現



「デジタルコンテンツの増加で紙への印刷は減少？」

→ 紙以外の印刷はまだまだ成長していきます！

「紙の使用は環境負荷も高いしマイナスイメージ…」

→ デジタルプリントは環境負荷が低くサステナブル！

「インクで儲けるビジネスモデルでしょ！？」

→ 本体/インク/保守の全てで利益が出せる事業！

中長期成長戦略 MI30※ 新たな領域にチャレンジ



INN VATION 30

安定的な収益性で売上高成長の追求を継続し、資源の積極的な活用により
新たな領域にチャレンジすることで、

2030年3月期に売上高 **1,500億円** を目指す



チャレンジ1

高粘度領域

粘度の低いインクから
粘度の高い塗料の分野へ



チャレンジ2

フレキシブル有機ELシート

インクジェット生産による
低コストな有機EL



※この画像は生成AIによって
作成されたイメージです

チャレンジ3

セカンドブランド

印刷の前後装置を提供し
顧客の“安心”を創出

チャレンジ4

3D事業の進化

様々な素材の3D印刷
実現で大きく広がる市場



3DUJ-553

様々な素材



Made in JAPAN
Made by Mimaki

※MI30 : Mimaki Innovation 30

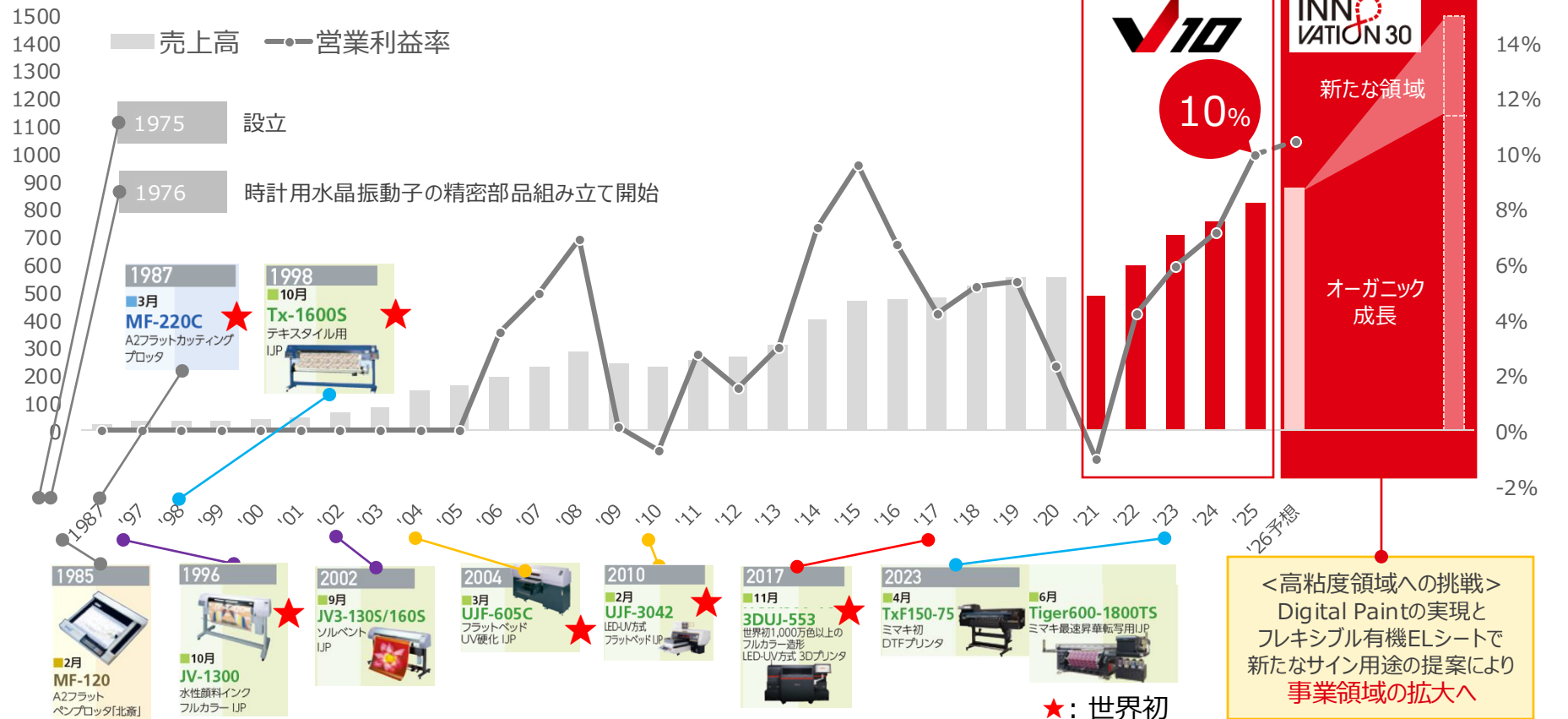
中長期成長戦略 MI30「新しさと違い」を提供し続けます

(2025年3月期 営業利益率10%達成)



INN VATION 30

売上高 [単位：億円]



連結業績 1Q実績 (2026年3月期) & 通期 連結業績予想



	売上高	営業利益	経常利益	純利益*
通期 連結予想	88,600百万円 前年同期比 5.5%	9,200百万円 前年同期比 1.0% 営業利益率 10.4%	8,400百万円 前年同期比 △0.5% 経常利益率 9.5%	5,900百万円 前年同期比 △4.2% 四半期純益率 6.7%
第1四半期 (4月-6月) 連結業績	19,413百万円 前年同期比 △2.0%	1,934百万円 前年同期比 △5.8% 営業利益率 10.0%	1,835百万円 前年同期比 △6.0% 経常利益率 9.5%	1,321百万円 前年同期比 △10.9% 四半期純利益率 6.8%

*親会社株主に帰属する純利益

弊社株価推移



INNOVATION 30

【当社の資本収益性*】

PBR 1.63 倍

PER 9.00 倍

ROE 20.71 %

*2025/8月22日時点 株価 1,801円 より算出

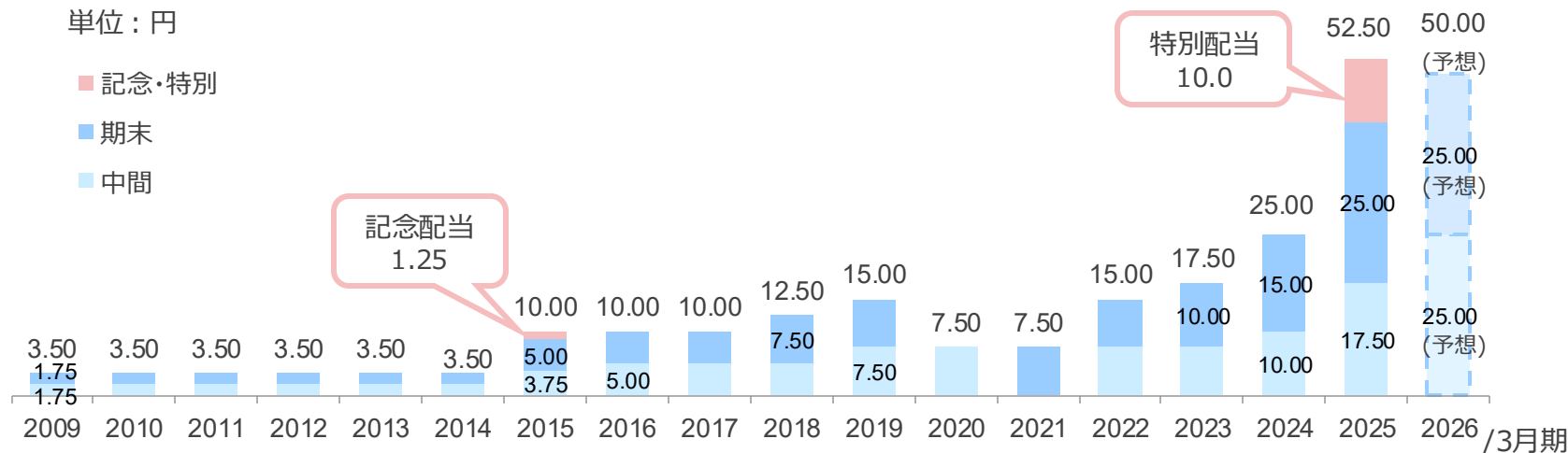


出典: Yahoo! ファイナンス 2025/8/22

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に
行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期（予想 変更なし） 中間：25.0円、 期末：25.0円
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年50.0円**の予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）



本資料に関するお問合せ先

株式会社 ミマキエンジニアリング

I R部

<https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取り扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。